

[特集]
令和2年度決算報告

京田辺市の財政状況

問合せ先▶財政課(☎64・1312)

令和2年度、市民の皆さんから納付された税金などを、どのように使い行政運営を行ったか、また、収支のバランスなどについて、市が取り組んだ主な事業などを示しながら紹介します。※金額は概数です。

第4次総合計画がスタートした令和2年度は、市が目指す都市像「緑豊かで健康な文化田園都市」の実現に向けて、夢と希望のある明るい未来を築くまじづくりを進めました。幼保連携型認定こども園の整備や中学校給食基本計画の策定など、「子育てしやすいまちナンバーワン」を目指した事業や、新型コロナウイルス感染症対策として、市民の暮らしや地域経済を支える事業を取り組みました。

◎歳出

歳出総額は330億円で、昨年度より92億円増加しました。これは、国の特別定額給付金などを活用して新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだ結果です。また、国のGIGA(ギガ)スクール構想(※)に基づいて、小・中学校へのタブレット端末の貸与やインター

ネット環境の整備などを行ったほか、幼保連携型認定こども園の整備のための補助金支出や障害児通所給付費の増加などにより、教育費で8億円、民生費で7億円増加しました。

◎歳入

歳入総額は342億円で、昨年度より97億円増加しました。これは、歳出と同様、新型コロナウイルス感染症対策に伴う特別定額給付金のための国庫支出金の増加によるものです。

また、歳入で2番目に大きな割合を占める市税は、人口の増加や大規模物流施設の立地などにより、前年度と比べて1億円増加し114億円となりました。歳入・歳出の差額(12億円)は、基金への積み立てや翌年度事業の財源として利用します。

※GIGA(Global and Innovation Gateway for All)スクール構想
児童生徒に1人1台学習用タブレット端末を配備し、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、教育のICT化を進める取り組み。

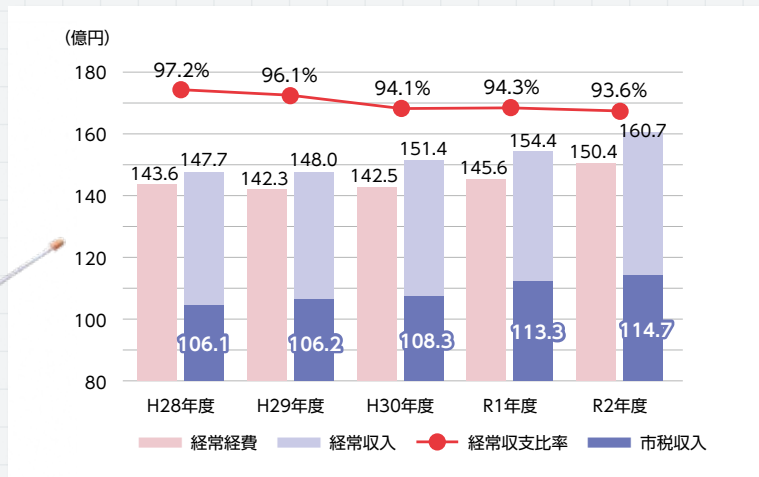
自由に使えるお金はどのくらい？

経常収支比率から分かる財政の硬直化

「経常収支比率」とは、市税や国からの交付金など毎年決まって入ってくるお金(経常収入)が、人件費・社会保障費・公共施設の維持管理費など毎年固定的に支払わなければならない経費(経常経費)にどれだけ使われたかを表した指標です。この比率が高いと、自由に使えるお金が少ないことを表し、社会情勢の変化や市民のニーズに対応できないため、「財政に弾力性がない(硬直化している)」こととなります。

◎本市はどんなの？

令和2年度の経常収支比率は93.6%となり、前年度並みの高い水準となりました。人口の伸びや新たな企業立地によって市税収入は増加しましたが、経常経費も増加しており、依然として財政は硬直化している状態です。市は、経常収支比率の改善に向けて、財源確保や既存事業の見直しに取り組んでいます。



「経常収支比率」を家計に例えると

食費や光熱水費などの毎月かかる経費が、給料などの毎月決まった収入に占める割合のことで、この比率が高いほど、旅行や趣味などにお金を回す余裕がなくなります。

財政課職員

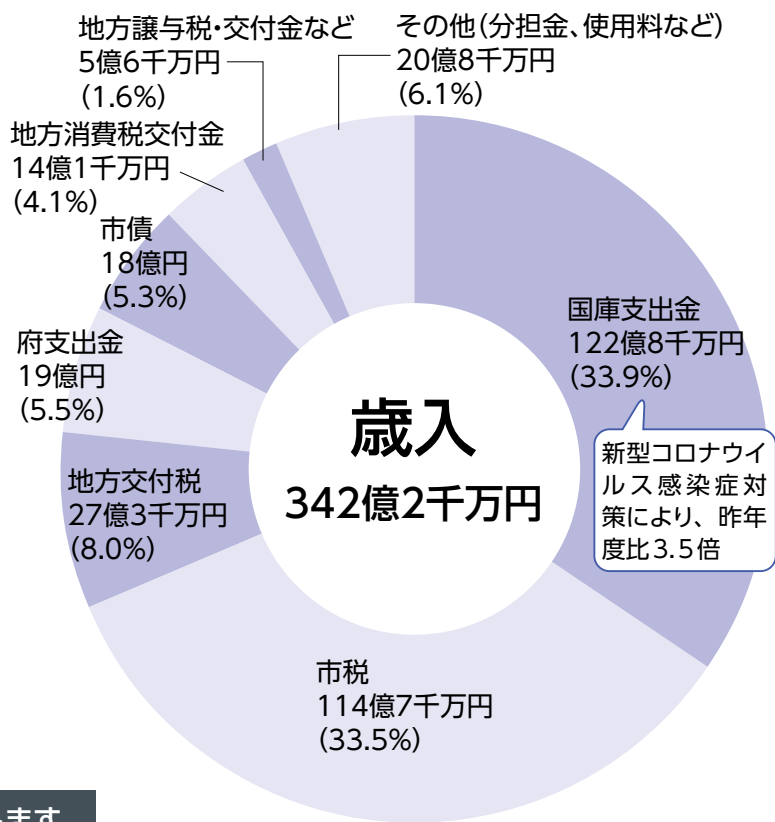
国庫支出金…国から市に対して交付されるもの。
市税…市民税・固定資産税・軽自動車税など。
地方交付税…国税の一部を原資として、一定の基準により市に交付されるもの。
市債…市が資金調達のために国や金融機関から借り入れるもの。
府支出金…府から市に対して交付されるもの。
地方消費税交付金…消費税の一部が交付されるもの。
地方譲与税・交付金など…国や府に納めた税などの一部が交付されるもの。
その他…公共施設の使用料や行政サービスに対する分担金など。

監査委員からの意見

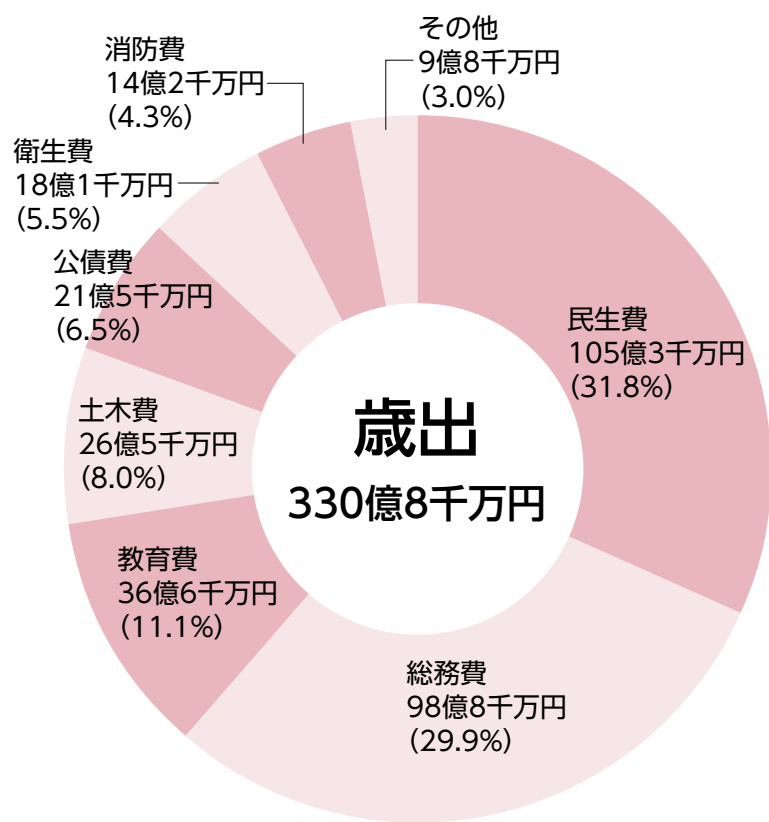
新型コロナウイルス感染症対策を中心に、主要な施策については、おおむね実施されています。また、経常収支比率は、依然として高く非常に厳しい財政状況といえます。今後、人口構造の変化も注視しながら、中長期的に財政見通しを立てるとともに、行財政改革を進め、財源の確保策についても検討する必要があります。

このような中、市民の暮らしを支えていくためには、行政と市民・関係団体が連携して地域課題を解決していく仕組みづくりが大切です。

次ページ以降で取り組んだ事業の一部を紹介します。



新型コロナウイルス感染症対策により、昨年度比3.5倍



民生費…子育て支援・高齢者福祉・障がい者福祉・生活保護など。**総務費**…文化・スポーツ振興、市税賦課徴収など。**教育費**…小・中学校教育、幼稚園、生涯学習など。**土木費**…道路・橋・公園などの整備や維持管理など。**公債費**…国や金融機関から借りた市債の返済。**衛生費**…健康診査、予防接種、ごみ収集・処理など。**消防費**…消防・救急・防災など。**その他**…議会費・労働費・農林水産費・商工費など。

新型コロナ対策に86億円 国・府からの交付金を活用

令和2年度は、国・府の交付金など86億円を活用し、タイムリーに補正予算を組むことで、緊急的・臨時的な新型コロナウイルス感染症対策事業に取り組みました。事業の一部を紹介します。

市民をサポート 約73億円

- すべての市民を対象に10万円を支給（特別定額給付金）
- 子育て世帯・ひとり親世帯に給付金を支給
 - ☞子育て世帯や低所得のひとり親世帯などに給付金を支給しました。
- 水道基本料金を2カ月分免除
- 休業・失業者へ補助金を支給
 - ☞休業・失業などにより府社会福祉協議会から借り入れをした人へ、金額の一部補助を行いました。
- 留守家庭児童会・ファミサポの利用料を減額
 - ☞学校の臨時休校に伴う留守家庭児童会やファミリー・サポート・センターの利用料を減額しました。

●保育料・給食費を返金

☞緊急事態宣言期間中などで、家庭での保育に協力してくれた保育所や認定こども園に通う園児の保護者に対し、欠席日数に応じて返金を行いました。

●図書の配送サービス

☞中央図書館の臨時休館中に、予約図書の配送サービスを行いました。



利用者から「本の大切さを改めて感じました」など感謝の手紙がたくさん寄せられました(=写真)。

事業者をサポート 約2億円

- 休業要請への協力事業者などに支援金を支給
 - ☞休業要請などへの協力事業者や、新型コロナウイルス感染症の拡大によって大きな影響を受けた事業者へ支援金を給付しました。
- プレミアム付き商品券を発行
 - ☞市内の消費拡大による地域産業活性化を図るため、プレミアム付き商品券を発行しました。
- 農業の担い手に給付金を支給
 - ☞地域農業の担い手を支援するため給付金を支給しました。また、農業収入減少に備えた保険加入を促進しました。
- バス・タクシー事業者に支援金を支給
 - ☞交通インフラを担うバス・タクシー事業者へ支援金を給付したほか、利用客の回復に向けて新たな生活様式に基づく乗車方法を啓発する「路線バス無料の日」を行いました。



1万円で13,000円分の買い物ができるプレミアム付き商品券を発行(令和2年8月)

ウィズコロナ社会に向けて 約10億円

- 市立小・中学校にタブレット端末、無線LANを整備
- キャッシュレス決済サービスを活用したポイント還元事業を実施
- 子どもたちの感染防止として消毒液・空気清浄機を購入
 - ☞子育て支援施設、保育所、幼稚園、小・中学校などでマスク・消毒液・空気清浄機を購入しました。
- 避難所で使用するパーテーション(間仕切り)を購入



GIGAスクール構想の実現に向けて、小・中学校に1人1台のタブレット端末を整備。感染防止のため臨時休業とした場合、学習支援として活用する準備を進めています。

令和2年度に行った事業の一部を、第4次総合計画「まちづくりプラン」に基づく6つの施策体系ごとに紹介します。

安全で心安らぐ優しいまちづくり

ガードパイプ設置・路面のカラー化

園児・児童などを交通事故から守るため、交差点にガードパイプを設置したほか、交差点2カ所と路肩約1,400mでドライバーの視認性を高め注意を喚起するためカラー化を行いました。[1,307万円]



ガードパイプ設置3カ所



交差点カラー化2カ所



路肩カラー化1,400m

緑に包まれた美しいまちづくり

水辺の散策路2ルートの整備

四季折々の自然を楽しみながら健康づくりができる水辺の散策路。令和2年度に、「防賀川 市の要ルート」「普賢寺川 同志社ルート」の整備を行ったことで、市内全10ルートが完成しました。[923万円]

広報紙のシリーズ記事で紹介しています。詳しくは裏表紙をご覧ください。

いきいき健康で明るいまちづくり

田辺中央体育館をリニューアル

全国小学生ハンドボール大会などのスポーツイベントのほか、成人式などさまざまな目的で利用されている田辺中央体育館に空調機器を整備。また、トイレの洋式化・手すりの設置などバリアフリー化を行いました。[2億6,249万円]

空調機器を整備



今年8月に開いた全国小学生ハンドボール大会に出場した選手にも好評でした(=写真⑥)。

トイレの洋式化など



子育てしやすく未来を育む文化薫るまちづくり

私立幼保連携認定こども園の整備を支援

今年4月に開園した私立の幼保連携型認定こども園「みんなのき三山木こども園」。学童保育も併設されている同園のオープンに向けて、事業者が行う施設整備などへ支援を行いました。[2億6,589万円]



11月1日現在、子育て拠点の1つとして69人の園児を受け入れていました。

活力にみちた便利で快適なまちづくり

空き部屋を持つ高齢者と若者の同居4組をマッチング

空き部屋を抱える高齢者の家に大学生などの若者が同居し、互いに助け合って生活するソリデール事業を推進しました。[77万円]



同事業についてのフォーラムや説明会など広くPRを行うことで4組のマッチングに近づきました。

まちづくりプラン推進のために

保育所入所調整をAIでマッチング

事務の正確性・効率性・迅速性を向上させるため、保育所の入所調整事務にAIシステムを導入しました。[525万円]

市プロモーション動画を制作・公開

第4次総合計画とまちの魅力を視覚的に伝えるプロモーション動画を制作。市内の大学・高等学校の学生のアイデアを盛り込むほか、エキストラとして27人の市民に出演してもらいました。市公式ユーチューブ・京都四条南座・サンガスタジアム・関西主要駅などで上映し、市内外の多くの人に本市の魅力をPRしました。[487万円]



ユーチューブの再生回数は自治体動画の成功の目安といわれる1万回を公開から4カ月で突破。写真は今年10月10日に開かれた「京田辺市・木津川市ホームタウンデー」(サンガスタジアム)での上映シーン

特別会計と 公営企業会計の 決算収支状況

一般会計とは別に、特定の事業を行う場合や特定の収入で事業を行う場合に、ほかの会計と区分して経理している会計です。



財政課職員

◆特別会計

会 計	歳 入	歳 出
松井財産区特別会計	634万円	523万円
国民健康保険特別会計	58億8,548万円	58億7,789万円
休日応急診療所特別会計	2,069万円	2,040万円
介護保険 特別会計	保険事業勘定	45億1,426万円
	サービス事業勘定	44億1,956万円
	2,815万円	1,726万円
後期高齢者医療特別会計	10億4,614万円	10億4,544万円

◆公営企業会計

(税込み)

会 計	収 入	支 出
水道事業会計(収益的収支)	16億43万円	15億4,419万円
水道事業会計(資本的収支)	1億898万円	10億9,550万円
公共下水道事業会計(収益的収支)	16億9,784万円	17億610万円
公共下水道事業会計(資本的収支)	7億2,750万円	9億7,330万円
農業集落排水事業会計(収益的収支)	6,206万円	6,203万円
農業集落排水事業会計(資本的収支)	2,870万円	2,900万円

※資本的収支の不足額は、補てん財源(損益勘定留保資金など)で補てん

財務書類(統一的な基準)

国が示した「統一的な基準」に基づき作成する財務書類のうち、令和2年度決算に基づく「貸借対照表」・「行政コスト計算書」を紹介します。

◆貸借対照表(バランスシート)

資産・負債・純資産の残高や内訳を示したものです。資産から将来返済しなければならない負債を差し引いた残高が純資産となります。

科目	金額	科目	金額
資産の部	913億円	負債の部	244億円
(主な内容)	882億円	(主な内容)	168億円
・固定資産(道路・公園・学校など)		・地方債	
・流動資産(現金預金・未収金など)	31億円	将来世代の負担	
		市民1人あたり 約35万円	
		市民1人あたり 約130万円	
		純資産の部	669億円
		これまでの世代の負担	

◆行政コスト計算書

資産形成に結びつかない行政サービスに要した経費とそのサービスの直接的な対価として得られた収益を表したものです。

経常行政コスト		経常収益	
経常費用	315億円	経常収益	10億円
行政サービスを提供するためのコスト		行政サービスの直接対価としての収入	
(主な内容)	68億円	(主な内容)	
・人にかかるコスト(職員給与・退職手当など)		・使用料、手数料・負担金など	
・物にかかるコスト(減価償却費・施設の維持管理費など)	71億円	純経常行政コスト	305億円
・その他のコスト(社会保障・補助金・地方債の利子など)	176億円	1年間の行政サービスの提供コストから収益を引いたもので、この額は市税などで補てんします。民間企業と異なり、サービスの対価を受けることが少なく、通常、コストが収益を上回ります。	
		市民1人あたり 約43万円	

◆市の歳入

市財政の項目	金額	前年度からの増減
市税	114億7千万円	1億3千万円
国府交付金・地方交付税・地方譲与税	188億7千万円	93億6千万円
使用料手数料・分担金負担金・諸収入・寄附金・財産収入・繰入金	14億1千万円	△1億4千万円
繰越金	6億7千万円	2千万円
市債	18億円	3億2千万円
合計	342億2千万円	97億円

◆市の歳出

市財政の項目	金額	前年度からの増減
人件費	68億6千万円	9億3千万円
扶助費	63億3千万円	2億2千万円
公債費	21億5千万円	△8千万円
物件費・補助費	135億1千万円	75億6千万円
繰出金	13億2千万円	7千万円
積立金	2億9千万円	1千万円
普通建設事業費・維持補修費	26億1千万円	5億2千万円
合計	330億8千万円	92億3千万円

※厚生労働省平成29年国民生活基礎調査 全世帯平均所得を参照

◆家計簿の収入

家計簿の項目	金額	前年度からの増減
給与 うち基本給	185万円	2万円
うち諸手当	304万円	151万円
パート収入	23万円	△2万円
昨年の残金	11万円	1万円
借金(ローン)	29万円	5万円
合計	552万円	156万円

◆家計簿の支出

家計簿の項目	金額	前年度からの増減
食費	111万円	15万円
医療費・介護費など	102万円	3万円
ローンの返済	35万円	△1万円
光熱水費や日用品費など	218万円	122万円
家族・親戚への援助	21万円	1万円
預貯金	5万円	-
自宅の増改築や修繕・車の買い換えなど	42万円	8万円
合計	534万円	148万円

京田辺市の家計簿

一般家庭に例えると…

市の決算を分かりやすく一般家庭の家計簿に例えて紹介します。歳入歳出を項目別に、「年収552万円」(※)の世帯と仮定して置き換えています。家計簿収入の「給与(うち諸手当)」と支出の「光熱水費や日用品費など」が昨年より大きく増

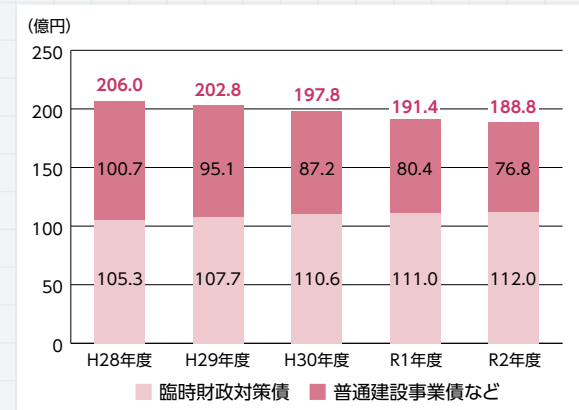
加しています。これは、新型コロナウイルス感染症対策によるものです。また、家計簿支出の「食費」「医療費・介護費など」「ローンの返済」は、市の歳出では、法令で義務付けられた経費であるため、簡単に削減することができず、これらも増加傾向にあります。

市債残高 市が借り入れている借金残高
189億円(前年度から2.5億円↓)
DOWN

市民1人あたり

27万円 京都府下14市の平均50万円(令和元年度末)。

過去5年の推移 緩やかな減少傾向にあります。



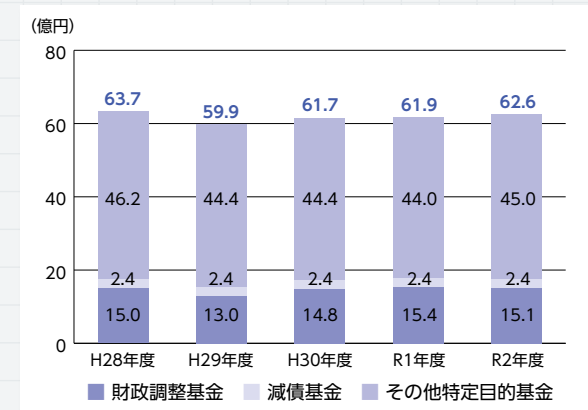
普通建設事業債…道路・公園・学校施設など、将来にわたって利用する公共施設の建設費についての市の借入金のこと。臨時財政対策債…国から交付される地方交付税の不足分をまかなうため市が借り入れるもの。この返済は、将来、国の交付税で全額交付されます。

基金残高 市が積み立てている預貯金残高
62.6億円(前年度から7千万円↑)
UP

市民1人あたり

9万円 京都府下14市の平均9万円(令和元年度末)。

過去5年の推移 平成29年度から緩やかに増加しています。



財政調整基金…財源に余裕のある年度に積み立てを行い、市税などの減収による財源不足や災害など予期せぬ支出に対応するための積立金のこと。減債基金…市債の償還を計画的に行うための積立金のこと。その他特定目的基金…特定の目的のための積立金のこと。

市の預貯金・借金はどのくらい？
預貯金はやや改善・借金は減少傾向